

【東区産業発見クイズラリー】 参加レポート

アップルスポーツカレッジ スポーツマネジメントコース

石田 悠

1. 東区産業発見クイズラリー

本イベントは、「まちを巡って、『産業のまち東区』のひみつに迫る」をコンセプトに、地域の名所や歴史、産業施設に触れながら楽しくクイズ・謎解きを行う周遊型イベントです。

地域活性化の視点から見ると、単なる観光案内にとどまらず、「地域のターゲット（特に親子連れ）に対して、楽しみながら地域理解を促す」という明確なターゲット層と狙いを持って設計されていることが伺えました。



2.実際に参加してみて感じたこと

実際のフィールドワーク体験（徒歩での移動・周遊）を通じて、今後のイベント運営や満足度向上に向けた課題と提案をまとめました。

① 開催時期・熱中症対策に関する提案

課題：夏休み期間（8月中旬）の開催であるため、日中の日差しが非常に強く、徒歩や自転車での周遊は参加者（特に小さなお子様や高齢者）にとって熱中症リスクが高いと感じました。

提案として2点挙げます。

- ・開催時期の検討：気候が穏やかで屋外歩行に適した秋（10月～11月頃）への時期変更、または秋の行楽シーズンとの連動。

- ・熱中症予防施策：夏開催を継続する場合は、受付での塩分タブレットや水分の配布、協力店舗・施設での給水スポットの設置など、参加者の安全面に配慮したホスピタリティの強化が有効です。

② 移動手段とアクセス情報の明記の提案

課題：全5か所のスポット範囲が広く、実際に徒歩で移動した際に移動負担が大きいのと感じました。一方で、車利用を前提としたイベントなのかが告知物からは判別しづらい部分がありました。こちらも提案として2点挙げます。

- ・チラシやWebサイトに「おすすめルート（車コース／公共交通機関・徒歩コース／自転車コース）」や、各スポット間の所要時間を明記すること。

- ・車での参加を推奨する場合は「駐車場完備」などの表記を入れ、徒歩・自転車参加者には周遊バスの活用案や安全面の注意事項を追記することで、参加者が事前の準備や手段の選択をしやすくなると思います。

3.参加してみての感想

今回のイベントに実際参加して誰に来てほしいのか何を知ってもらいたいの
か明確なイメージをもって企画されているのが伝わりました。

東区の歴史や子どもたちが遊べる公園など様々な人が楽しめる場所に問題が
配置させていてイベントだけでなく東区についての知識が付いたり外遊びの時
間が作れたりなど家族連れの方が休日の遊びとしても取り入れやすくなってい
ました。



画像：大山ポンプ場

4.まとめ

今回の実地参加を通して、地域の産業資源を「クイズラリー」という体験型
コンテンツに落とし込むことで、幅広い世代へ自然な形で地域理解を深めても
らう企画の魅力を強く実感いたしました。

スポーツや地域イベントの企画・運営を学ぶ身として、ターゲット設定の重
要性や、現場での安全管理・周遊動線設計の大切さを学ぶ大変貴重な機会とな
りました。今回の気づきを今後の企画・運営実践に活かしてまいります。